

n.

様式（文部科学省ガイドライン準拠版）

自己評価報告書

令和2年5月1日現在

学校法人 高村育英会
国際デュアルビジネス専門学校

令和2年6月1日作成

目 次

本書の使い方	1	基準4 学修成果	26
1 学校の理念、教育目標	2	4-13 就職率	27
2 本年度の重点目標と達成計画	3	4-14 資格・免許の取得率	28
3 評価項目別取組状況	5	4-15 卒業生の社会的評価	29
基準1 教育理念・目的・育成人材像	5	基準5 学生支援	30
1-1 理念・目的・育成人材像	7	5-16 就職等進路	31
基準2 学校運営	9	5-17 中途退学への対応	32
2-2 運営方針	10	5-18 学生相談	33
2-3 事業計画	11	5-19 学生生活	35
2-4 運営組織	12	5-20 保護者との連携	37
2-5 人事・給与制度	14	5-21 卒業生・社会人	38
2-6 意思決定システム	15	基準6 教育環境	40
2-7 情報システム	16	6-22 施設・設備等	41
基準3 教育活動	17	6-23 学外実習、インターンシップ等	43
3-8 目標の設定	17	6-24 防災・安全管理	45
3-9 教育方法・評価等	19	基準7 学生の募集と受入れ	46
3-10 成績評価・単位認定等	22	7-25 学生募集活動	48
3-11 資格・免許取得の指導体制	23	7-26 入学選考	50
3-12 教員・教員組織	24	7-27 学納金	52

基準 8 財 務	5 2
8-28 財務基盤.....	5 4
8-29 予算・収支計画.....	5 6
8-30 監査.....	5 7
8-31 財務情報の公開.....	5 8
基準 9 法令等の遵守	5 9
9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	6 0
9-33 個人情報保護.....	6 1
9-34 学校評価.....	6 2
9-35 教育情報の公開.....	6 4
基準 10 社会貢献・地域貢献	6 5
10-36 社会貢献・地域貢献.....	6 6
10-37 ボランティア活動.....	6 8
4 令和元年度重点目標達成についての自己評価	6 9

本書の使い方

- 1 本書は平成 25 年 3 月、文部科学省が策定・公表した「専修学校における学校評価ガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）に示された「項目別の自己評価表(例)イメージ」及び「自己評価における評価指標・観点・参考資料一覧表(イメージ案)」などを参考に全体を構成しました。
また、評価項目は、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構(以下「機構」という。)がガイドラインに準拠して制定した「専門学校等評価基準書 Ver4.0」を適用しています。
- 2 従来の「評価項目別取組状況」に「学校の理念・教育目標」、「年度の重点目標と達成計画」、「年度の重点目標達成についての自己評価」を加えることにより、ガイドラインに示されている PDCA を活用した自己評価を進めることができるようになっています。
- 3 ガイドラインでは、「項目別の自己評価表(例)イメージ」において取組状況を 1 から 4 の評語を用いて自己評定する様式を例示しています。このことから、本書でも「評価項目別取組状況」の小項目毎に評定欄を加えました。評語の考え方の例は、以下のとおりです。但し、評定については学校ごとの考え方により実施しない学校においては評定欄を削除してお使いください。

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

- 4 本書は、学校関係者評価を円滑に進めるために、記述のうち「学校の理念・教育目標」、「年度の重点目標と達成計画」、「年度の重点目標達成についての自己評価」など部分的にピックアップして評価を行うことができるように構成していますので、学校関係者評価実施においても活用できます。
- 5 本書はワード形式で作成しています。学校の考え方により適宜変更して使用してください。ご不明な点につきましては、機構事務局までお問い合わせください。

連絡先 03-3373-2914 info@hyouka.or.jp

1 学校の理念、教育目標

教育理念	教育目標
<p>「人間教育」「実践教育」「国際教育」という3つの教育理念とそれにより「学生」「保護者」「社会」の3つの信頼の獲得を建学の理念としている。</p> <p>本校では「心からのおもてなし精神」を育み、社会の要請に応えうる人材の育成を目的としている。</p> <p>今後も将来にわたり一貫して、国際化時代に活躍できるスペシャリストの育成を目指している。</p> <p>このような理念・目的・育成人材像等を全職員が理解し、意識させるため、令和2年度事業計画の立案に参加させ、会議等で、周知徹底を図ってきている。</p>	<p>以下の三つを基本的な教育目標とする</p> <ol style="list-style-type: none">1 人間教育 どの業界、どの企業においても囑望されている人材として必要な、豊かな人間性そして人格の向上に重点を置いた教育システムにより人材育成にあたる。2 実践教育 どの業界、どの企業においても囑望される人材に必要な、知識と行動力を備えた人材育成にあたる。 その実現のため、企業との連携を図り、企業実習をカリキュラムに取り入れている。3 国際人教育 当校の INTERNATIONAL COLLEGE OF の冠名のとおり、日本を知り、世界を知る人々の融合の中で国際的センスを養う。

2 本年度の重点目標と達成計画

令和元年度重点目標	達成計画・取組方法
-----------	-----------

全体目標

【新学科設立準備】 国際ホテル学科(通信制)・IT ビジネス学科・留学生の大学進学対策教科の導入。

市場調査及び申請準備等を行う1年とする。

【学習環境改革】 授業時間(開始・終了)・担任制度を変更。また、校内美化活動が学習意欲や集中力を高め、出席率の向上につながった。引続き実行する。

【就職内定先レベルアップ】 就職内定は当たり前ととらえ、2020年度はより知名度のある企業への就職内定を目指し、就職指導・企業実習を強化する。就職に強い学校のイメージを定着させて学生募集につなぐ。

【働き方改革】 AIで業務を効率化、業務分掌見直しで改革を行う。若手職員の育成も

学生募集目標

- 【学生募集の戦略化】
- 【WEB/SNS 戦略の強化】
- 【学校説明会改革】
- 【留学生対策】

教務目標

- 【現役講師の獲得】
- 【就職担任制の導入】
- 【学校行事の見直し】
- 【学習環境の整備】
- 【コミュニケーション】

就職目標

- 【内定率 100%達成】
- 【インターシップの強化】
- 【学生管理の徹底】

最終更新日付

2020年6月1日

記載責任者

谷口 久光

3 評価項目別取組状況

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>「人間教育」については、挨拶・整理整頓・清潔運動、校内美化、ボランティア活動の奨励などにより、社会人基礎力の向上を図っている。進歩はみられるが、留学生がさらに増加し、日本の習慣、マナーの習得などに重点を置いている。</p> <p>「実践教育」については、「インターシップ」の充実により、実践的教育の向上を図っている。インターシップ先企業により、内容、方法等が異なり、課題も多い。</p> <p>「国際教育」については、留学生の増加により、校内での国際交流は盛んになっている。</p> <p>留学生の増加に伴い、留学生が卒業後日本で就職するものも増加し、日本の労働力の国際化に貢献している。</p>	<p>ボランティア活動をさらに奨励し、社会貢献のできる人材を育成していく。</p> <p>留学生の企業実習を見直して「インターシップ」へ。企業との連携を深め、「インターシップ」と学校での「座学」の連動を図っていく。</p> <p>カリキュラムの見直しを行い、より実践的な教育を行う。</p> <p>留学生が多いという本校の特徴を活かし、より国際的教育を行っていく。</p>	<p>留学生の増加</p> <p>留学生のインターシップの実施</p>

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	<input type="checkbox"/> 理念に沿った目的・育成人材像になっているか <input type="checkbox"/> 理念等は文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 理念等において専門分野の特性は明確になっているか <input type="checkbox"/> 理念等に応じた課程(学科)を設置しているか <input type="checkbox"/> 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか <input type="checkbox"/> 理念等を学生・保護者・関連業界等に周知しているか <input type="checkbox"/> 理念等の浸透度を確認しているか <input type="checkbox"/> 理念等を社会の要請に的確に対応させるため、適宜見直しを行っているか	4 4 4 4 4 4 3 3	<p>学校案内、ホームページに明記し、周知徹底を図っている。</p>	<p>明確化されてはいるが、すべての教職員に浸透しているとは言えない。</p>	<p>職員会議、講師会他の会議、ミーティング等で浸透を図っていく。</p>	<p>学則、就業規則 学校案内 ホームページ</p>
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 課程(学科)毎に、関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか <input type="checkbox"/> 教育課程・授業計画(シラバス)等の策定において、関連業界等からの協力を得ているか	4 4	<p>インターシップを実施して、適合を図っている。</p> <p>協力を得ている。</p>	<p>インターシップ先が限られ内容、時間数が異なる。 企業実習を途中で挫折してしまう者がいる。</p>	<p>インターシップ先が限られているため、学科名にふさわしい実習先の開拓を行い、実習の有給化を図る。 業界関係者の意見を取り入れる。</p>	<p>教育課程表 シラバス 実習実施要項</p>

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	<input type="checkbox"/> 専任・兼任(非常勤)にかかわらず、教員採用において、関連業界等から協力を得ているか <input type="checkbox"/> 学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか <input type="checkbox"/> 教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか	3 4 3	<p>実習に当たっては関連業界の協力を得ており、外部の意見を聞いている。</p>	<p>関連業界との連携の強化、意見の反映。</p>	<p>教員採用、教材の開発に協力体制をとる。</p>	
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか	4 4	<p>日本版デュアルシステム、インターシップの導入により、企業実習重視のカリキュラム編成をしている。</p>	<p>実習内容が企業により異なっている。</p>	<p>インターシップ、有給企業実習の実施により、「やる気」を持たせる。</p>	<p>教育課程表 シラバス 実習実施要項</p>
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	<input type="checkbox"/> 中期的(3~5年程度)な視点で、学校の将来構想を定めているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を教職員に周知しているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	3 3 2	<p>中期計画の策定し、実現を図っている。</p>	<p>変化する社会情勢、ニーズに合った学校運営ができていない。</p>	<p>法人と校長を中心に検討を行い、中期計画の実現に向けての対応を図っていく。</p>	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学校の理念は明確になっており、日本版デュアルシステム、インターシップによる、企業実習を重視したカリキュラム編成を特徴としている。さらに企業実習からインターシップの充実を図り、関連業界との連携を深め、求められる人材育成に努めていく。</p>	<p>留学生の有給企業実習の実施している。 企業実習からインターシップへ</p>

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>留学生の増加は続いており、入学試験の倍率は引き続き3倍を超え、学生の質は向上している。</p> <p>学科編成は、国際観光学科、国際ホテル学科、の2学科となった。</p> <p>学生総数は横ばいであるが、学科編成の合理化、経費削減等により、財務体質は改善された。</p> <p>。いかに日本人学生を増やすかが大きな課題である。</p>	<p>留学生が多いことを本校の強み、特徴とし、真のグローバルズムを身につけることのできる学校として、アピールしていく。</p> <p>インターシップの実践により、企業との連携を深め、就職に強い学校を実現していく。</p>	<p>留学生の有給企業実習の実施。</p> <p>ボランティア活動の奨励</p> <p>・浅草消防署災害時支援ボランティアの継続</p>

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

2-2 (1/1)

2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	□運営方針を文書化するなど明確に定めているか	4	運営方針は明確に定められている。 年度末に事業計画の策定と発表を行ない、年度初めに前年度の事業報告を発表している。	教職員一人一人に浸透しているとは言えない。	職員全員に浸透させるよう方針を単純化、明確化し、ミーティング、職員会議で周知し、その方針に沿って運営していく。	事業計画書 事業報告書
	□運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか	4				
	□運営方針を教職員等に周知しているか	4				
	□運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針を明確にし、改革の意識を持たせ、具体化することにより実現している。人事異動により組織改革を行っている。	人事異動の実施。

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	<input type="checkbox"/> 中期計画（3～5年程度）を定めているか	4	中期計画は明確化されている。 単年度の事業計画は定められ、明確化されており、進捗管理、見直しの仕組みがある。	中期計画の遂行と管理。 事業計画の進捗管理、見直しを実施し、実現する。	中期計画の周知徹底。 進捗管理、見直しの実行。	事業計画書
	<input type="checkbox"/> 単年度事業計画を定めているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画に予算、事業目標等を明示しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期、内容を明確にしているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中期計画は明確になっている。 法人として事業計画の進捗管理、見直しの仕組みもできてきている。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	<input type="checkbox"/> 理事会、評議員会は寄附行為に基づき適切に開催しているか	4	理事会、評議員会は適切に開催されており、議事録を備え、寄附行為は適切に改正されている。	適切である。	今後も適切に運営していく。	寄附行為 理事会議事録 評議員会議事録
	<input type="checkbox"/> 理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4				
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか	4	理事と職員により、随時会議を開催している。決済方法等も寄附行為に則っている。 就業規則により、諸規則は定められている。	規則、規定は整備されている。	必要に応じて改善する。	寄附行為 就業規則 組織図
	<input type="checkbox"/> 現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか	3				
	<input type="checkbox"/> 会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか	3				
	<input type="checkbox"/> 会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 組織運営のための規則・規程等を整備しているか	3				
<input type="checkbox"/> 規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	3					

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	□学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか	3	事務職員の意欲、資質向上への取り組みとして、組織改革を実施している。	個々のモチベーションをいかにあげていくか。	適材適所補配置、評価の方法	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理事会、評議員会は適切に開催されており、寄付行為も適切に定められている。</p> <p>また、就業規則も整備されている。事務職員の意欲、資質向上への取り組みは、組織改革、職務分掌の明確化により行っている。</p>	人事異動、組織改革、職務分掌の明確化。

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	<input type="checkbox"/> 採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか	3	就業規則を基本に各分野の諸規則は整備済みである。	定期採用を行わず、適宜必要に応じて採用しているため、うまく採用できない場合がある。	適材適所の配置を行う。	就業規則 賃金規定
	<input type="checkbox"/> 適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就業規則、賃金規定は整備されているが、定期的な採用を行っていないため、適正な人材確保ができていないと言えない。適材適所の配置を心掛けている。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

2-6 意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	<input type="checkbox"/> 教務・財務等の事務処理において、意思決定システムを整備しているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4 4 3	理事会、評議員会、法人本部、職員会議等により意思決定する。 その他稟議制度も整備されている。	意思決定システムは整備されている。	方針を明確にし、意思決定を迅速に行う。	寄付行為 就業規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定システムは整備されており、直面している諸問題に対し、適切に意思決定できている。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

2-7 情報システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	<input type="checkbox"/> 学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか <input type="checkbox"/> これらシステムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか <input type="checkbox"/> 学生指導において、適切に（学生情報管理）システムを活用しているか <input type="checkbox"/> データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか <input type="checkbox"/> システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか	4 3 3 3 4	学籍管理システムと学生募集に特化したシステムを導入している。	学籍管理システムと学生募集システムの活用。	各システムの有効活用を進めていく。	学籍管理システム 学生募集システム

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学籍管理システムと学生募集に特化したシステムを有効に活用し、学生管理の充実と業務の効率化を図る。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>総括として、本校事業計画等や外部意見を参考にしながら、卒業後、社会人としての自己の向上に努め、基礎を身に着けることに重点を置いた教育を行う。</p> <p>教育理念として各々の将来を見つめ、その実現と充実を目指すことを重点とし、企業実習を含めより実践的な教育に努めている。</p> <p>カリキュラムの策定や授業の体制については、各授業の視察や講師教員との面談を評価・充実させ、また担任制を置き学生との個別面談や授業等での意見を聞き、アンケート等実施含めて、授業運営の向上に気を付けている。</p> <p>成績評価、単位認定については、学則に定め、厳格、公正に行っている。</p> <p>資格取得体制は、外国人留学生の現況に合わせ、日本語等語学を中心とした検定試験を受験させ、また事業計画等に則り、学生各自が希望する各種資格に柔軟に対応できる指導を実施している。</p>	<p>就職に強い学校を創るため、関連企業とのコミュニケーションや連携の強化を続けて、インターンシップや企業研修をより一層充実させる。</p> <p>個別指導や授業内容を学生各自の能力に合わせてられる体制を講師との連携を密にしながら強化していきたい。</p> <p>また、外国人留学生、特にベトナム籍の学生増加に鑑み、教育活動や方針、漢字の不得手な学生への日本語教育を充実させ、就職に強く日本における社会人生活での成功を目標に定めていきたい。</p>	

最終更新日付

2020年6月1日

記載責任者

鈴木 康之

3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 職業教育に関する方針を定めているか	4 4	教育課程表に基づき、外部講師や関連企業との連携を重視・協議を続ける。	編成や実施の基本方針を職員全体で共有すること。	定期的にその方針を確認し、到達目標について確認する。	教育課程表
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	<input type="checkbox"/> 学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか <input type="checkbox"/> 教育到達レベルは、理念等に適合しているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	4 3 3 4	教育目標、教育理念に沿った授業内容の構築・編成を強化。 講師教員への啓蒙とそれを反映した指導体制の充実化。	教育到達の水準の向上、レベルアップを図ること。	レベルごとのクラス編成と、語学教育のより一層の改善	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職に強く、社会人としての実践力の強化に向けて、授業・個別指導・企業連携の面から人材育成を強化する。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか	4	科目の編成は規定等で明確にされている。	規定の再考も視野。	講師教員との連携を密にする。	教育課程表 教育課程編成委員会議事録
	<input type="checkbox"/> 議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか	3	議事録についてはあまり明確とは言えない。	議事録作成については不十分とみられる	講師会を定期的に実施。	
	<input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか	3	授業時間・単位数を明示。	専門と一般に加え、語学も充実させる。	留学生が多いため、語学教育にを強化したい。	
	<input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、必修科目、選択科目を適切に配分しているか	3	配分している。			
	<input type="checkbox"/> 修了に係る授業時数、単位数を明示しているか	4	単位数は明示している。			
	<input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか	4	学科ごとにカリキュラムを編成。			
	<input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか	3	授業形態は授業内容を通して選択されている。	演習や実習のより一層の充実化。	設備・備品等ハード部分の管理強化。	
	<input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、授業内容・授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか	3	授業の見学や講師との個別対応。	講師教員との連携を一層強化。	講師教員との意思疎通の充実を図る。	
	<input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で、授業科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	4	学科に応じ配分している。	ホテル学科に特化している。	ホテル学科以外も実習を強化する。	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	<input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等工夫しているか <input type="checkbox"/> 単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか <input type="checkbox"/> 授業科目について、授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているかを <input type="checkbox"/> 教育課程は定期的に見直し改定を行っているか	4 3 4 3	カリキュラム内容にそって講師各人と構築。 企業実習での内容と関連するようにシラバスを確認している	教材等が一致しない部分もある。 定期的な改定は不十分。	同じ科目を教える講師教員との打ち合わせに努める。 学生のニーズを再考。	シラバス 実習評価表
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	3 3 2	実習先企業においては評価表を作成してもらっている。	効果測定 卒業生・企業担当者との交流 関連企業・卒業先企業、及び卒業生徒に疎遠になりがち。	効果測定の実施 定期的に交流会を実施する。 卒業後も円滑な連携が取れるよう営業を強化していく。	実習評価表
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	<input type="checkbox"/> キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	4 3	就職指導担当者との連携。 就職担当者と講師の連携。教育内容の構築。			実習先企業からの評価表等 シラバス

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	□キャリア教育の効果について卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	3	企業担当者・卒業生との面会時に意見交換。	不十分な部分がある	就職先企業への挨拶営業、卒業生との交流強化に努める。	
3-9-4 授業評価を実施しているか	□授業評価を実施する体制を整備しているか □学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか □授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか □教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	3 3 3 3	授業見学や講師教員との個別面談。 アンケートを実施し、意見の集計や分析。 評価委員会 授業見学や講師教員との個別面談。	アンケート内容の綿密な検証。 講師との信頼関係を強化。	授業見学・巡回。 担任による学生面談による聴取や相談を重ね、信頼を深める。 一方的な要望、偏らない話し合いも必要。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
授業アンケート・授業見学、学生面談・講師面談等実施の上、講師の意見、学生の意見も十分検証し、発展的な授業運営を目指す。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか <input type="checkbox"/> 成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか	4 4 3	学則、学生便覧に明示。 評価の方法については学生、及び講師に公示している。 現状、運用していない。	留学生が多いため、日本語学校での履修結果が重要。	規定の整備 入学試験前の書類等確認強化。	学則 学生便覧
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	<input type="checkbox"/> 在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	4	学校で奨励しているコンテスト等は職員が引率している。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価の基準は学生・講師に対してきちんと公開している。 他の教育機関の履修認定については留学生が多いため、規定の整備・構築は難しい。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

3-11 資格・免許取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	<input type="checkbox"/> 取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	3 3	入学時のオリエンテーション、定期的な担任によるHRで確認。 授業科目に導入。	検定受験者の減少。留学生へのニーズ。 検定受験者の減少。留学生へのニーズ。	資格取得後のメリットや就活での優位性を啓もう。 語学関連資格の充実化。	資格試験奨励制度
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	<input type="checkbox"/> 資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	3 2		語学関連以外の指導体制は未定。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日本語・英語関連の資格取得は発展的だが、専門科目の資格取得は学生のニーズに変化が見られ再考が必要。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	<input type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか <input type="checkbox"/> 教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか <input type="checkbox"/> 教員採用等人材確保において、関連業界等との連携しているか <input type="checkbox"/> 教員の採用計画・配置計画を定めているか <input type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか <input type="checkbox"/> 教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	3 3 3 3 3 3 3 4	<p>履歴書、職務経歴書等により資格・資質・経験を把握し、個別面接を実施。</p> <p>ある程度のレベルに達する講師教員の募集。</p> <p>講師教員が所属する業界からの紹介、講師派遣業界との関連。</p> <p>個別の契約書においてお互いが了承。</p> <p>講師室を設けて、時間割や掲示物で把握。</p>	<p>資格・資質が不明瞭。</p> <p>募集のむずかしさ。</p> <p>特に定めていない。</p> <p>特に明示していない。</p>	<p>規定の明示。</p> <p>募集に関する環境の再考。</p>	<p>履歴書 職務経歴書 個別面接、面接試験</p>

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	<input type="checkbox"/> 教員の専門性、教授力を把握・評価しているか <input type="checkbox"/> 教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	4 3 2 2	授業参観や講師教員との個別面談にて把握・評価。	研修制度・計画は不足 研修制度・計画は不足 活動や支援は不足	関連業界との連携強化。関係行政機関の実施する研修会やセミナーの参加。 研修制度の確立と教員への支援の充実化。	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 分野毎に必要な教員体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか <input type="checkbox"/> 授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか <input type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか	3 3 3 3 3	専任・非常勤教員を交え講師会と個別面接を実施。 業務の分担は業務分掌表を策定の上実施している。 カリキュラム編成にあたっては教務・学生募集・就職の意見を集約し策定している。	連携・協力体制の不足。	教員組織の体制の整備。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門的知識、技能を持った教員の確保に努めている。 研修制度の整備は不十分、教員組織の整備は途上である。	
最終更新日付	2020年6月1日
記載責任者	鈴木 康之

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職率については、日本人は 100%、留学生は 97.8%となりさらに向上した。昨年度よりホテルや旅館の、求人数の増加傾向が続いたことも要因の一つと考えられる。</p> <p>引き続き、情報収集に努め、優良企業への就職を目指していく。就職内定において語学力が重要視される傾向を感じており、日本人は英語力、留学生は日本語能力の向上に努め、就職率アップにつなげていきたい。</p> <p>資格取得については、資格そのものお見直しを行い、社会のニーズに合った、カリキュラム編成を行っていく。</p> <p>卒業生の就職先企業へは、学校法人として訪問し、卒業生の評価、学校の評価を確認し、今後の企業との連携を強化し、就職につなげていく。</p>	<p>企業との連携を深め、社会のニーズに合ったカリキュラム編成を行っていく。</p> <p>就職に強い学校づくりを進めていくため、資格取得にとらわれず、社会人基礎力の向上、語学力の強化に努めていく。</p> <p>卒業生の評価だけでなく、学校としての評価を上げるため、努力していく。</p>	

最終更新日付	2020 月年 6 月 1 日	記載責任者	西端 茂和
--------	-----------------	-------	-------

4-13 就職率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 就職率に関する目標設定はあるか <input type="checkbox"/> 学生の就職活動を把握しているか <input type="checkbox"/> 専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか <input type="checkbox"/> 就職率等のデータについて適切に管理しているか	4 4 4 4 4	就職率や、学生の状況の把握は従来通り良好。日本人は内定率100%、留学生は97.8%まで向上した。各種データも管理されている。 外国人留学生はベトナムに偏った国籍配分なので受け入れ先企業がビザに慎重になる。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率は日本人 100%、留学生 97.8%と向上した。留学生の求人数も増加傾向にあるが、国籍の偏りなど問題点も多い。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	湯澤 芽以
--------	-----------	-------	-------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 資格・免許取得率に関する目標設定はあるか	3	在籍中の留学生は日本語能力試験 N2、英語は TOEIC 受験を目標。	語学系以外の専門分野の資格取得に関する補講不足。	特別講義や休暇中のゼミなどの実施。	
	<input type="checkbox"/> 特別講座、セミナーの開講等授業を補完する学習支援の取組はあるか	2				
	<input type="checkbox"/> 合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか	1				
	<input type="checkbox"/> 指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	2				
				全国水準との比較や統計については未整備。		
				未整備。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得に関しての目標や他校との比較分析は未整備。 資格取得に向けた学生のニーズも変化しているため、今後の検討する。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	□卒業生の就職先の企業・施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか	1	昨年度、会社訪問等はない。	追跡調査、訪問・営業は未整備。	卒業生等が気軽に連絡が出来るシステム（SNS等）を構築していく。卒業生が活躍する企業への訪問。	
	□卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	1	卒業生の業績等も把握していない。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の就職先企業へ訪問・営業を増やし、その業績評価の分析や市場調査等をカリキュラム編成や学生募集、就職活動の参考にするよう努める。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生の支援については各クラスに担任を設け実施している、さらには就職支援については就職担当者より実施し、連携を図っている。</p> <p>中途退学防止については、情報を共有し、個別面談の実施等により、未然に防ぐ努力をしている。しかし中途退学者は大幅には減少していない。</p> <p>学生相談は専門のカウンセラーは設置していないが、担任、教務が中心となり、職員全員で行っている。</p> <p>保護者との連携、卒業生、社会人との対応は今後の課題である。</p>	<p>就職、中途退学防止、学生相談については、学校一体、職員一丸として考えるものであり、職員それぞれが、学生とのコミュニケーションをとることを心掛けなければならない。組織の改編を行い、マンネリを打破していく。組織の改編においては担任が就職指導に加わるようになり、担任と就職担当者の連携によりさらなる実績向上に努めていく。</p> <p>担任による個人面談を年 2 回行っている。就職に関する面談も順次計画的に実施しており、教務においては、出席不良、成績不良、学費等に関するスピーディーな指導を心掛け、面談を適宜行っていく。</p>	

最終更新日付

2020 年 6 月 1 日

記載責任者

西端 茂和

5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 就職など進路支援のための組織体制を整備しているか	4	就職支援のために就職担当で授業や個別対応に当たっていた。	令和2年度より、就職支援の制度が変わる。就職担任制となるため担任に就いている職員へ内容を共有しなければならない。	学生指導法の確立	
	<input type="checkbox"/> 担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか	4	共有事項は朝礼や掲示、また学生対応後に報告をした。			
	<input type="checkbox"/> 学生の就職活動の状況を学内で共有しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか	3	留学生はほぼ学科の関連業界へ就職したが、邦人がそれ以外を希望することもあった。			
	<input type="checkbox"/> 就職説明会等を開催しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか	4	就職説明会や履歴書の書き方は授業内で行なった。			
	<input type="checkbox"/> 就職に関する個別の相談に適切に応じているか	4	個別相談は適宜行なった。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>令和2年度より就職支援体制が変わる。就職担当、就職担任で学生の進路をサポートすることとなる。連携を取り情報を共有することでより良い学生指導に向けて体制を整える必要がある。</p> <p>また企業との連携を図り、的確な指導が行えるような環境を整えていきたい。</p>	

最終更新日付	2020年9月17日	記載責任者	湯澤 芽以
--------	------------	-------	-------

5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	<input type="checkbox"/> 中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか	4	各担任による個別の追いかけて調査等にて学籍管理者が端末により集計・傾向や理由等分析。指導記録への入力保存。 問題を共有するためにデータの閲覧や担任同士の連携。	留学生においてはビザや生活面での状況の情報収集。 心理面での指導体制は特に必要。	相談しやすい環境を構築。また、カウンセラー的なものを設置も。 (共通項目)	
	<input type="checkbox"/> 指導経過記録を適切に保存しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか	3				
	<input type="checkbox"/> 退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中途退学に関する情報は把握し、事由含め記録されている。 個別面談や相談の垣根を低くする努力し、未然に防ぐ努力を続ける。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか <input type="checkbox"/> 学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか <input type="checkbox"/> 相談記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 関連医療機関等との連携はあるか <input type="checkbox"/> 卒業生からの相談について、適切に対応しているか	1 1 1 4 1 1	<p>定期的に個別面談を実施。</p> <p>相談記録は各端末や指導記録に個別に保存。</p> <p>卒業生からは各種証明書の発行依頼。</p>	<p>専任カウンセラーがない。相談室はない。</p> <p>医療機関との連携はしていない。卒業生からの相談対応は不十分。</p>	<p>カウンセラーの配置。相談室等の設置。</p>	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に関する指導記録を適切に保存しているか	3 4 4 4	<p>全職員が留学生の担当者となり、面談や相談等を実施。</p> <p>在籍管理は端末を使い日々の動きを適切に管理。</p> <p>進路指導や支援は就職担当者を置いてを授業及び個別で行っている。</p> <p>学籍管理用の端末にて保存。</p>	<p>留学生の学生数に対し担当職員が不足気味。</p>	<p>専任の指導教員の配置。</p>	<p>学籍管理用システム利用</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
留学生指導体制を強化するにあたり、事務系教職員の対応をより親身に接するよう努め、また専任カウンセラーや相談体制の強化に努める。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校独自の奨学金制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 学費の減免、分割納付制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	4 2 3 2 3	奨学金制度・学費減免制度の実施。 減免制度の実施。 関連する行政機関からの情報や実績を把握する。	先般の新型コロナ対応について継続中。 新型コロナに対する政府等補助金の活用。	オンライン授業や登校できない学生への支援体制拡充。 保護者を含め、連絡先の把握	行政機関における各種関連マニュアル
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校保健計画を定めているか <input type="checkbox"/> 学校医を選任しているか <input type="checkbox"/> 保健室を整備し専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 定期健康診断を実施して記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 有所見者の再健診について適切に対応しているか	3 3 3 4 4	年1回、健康診断を実施。記録の保存、再検診者への迅速な対応をしている。 検診医療機関との密接な関係を構築する。	保健室の整備。専門職員は未整備。	保健室の設備等充実化を図る。	健康診断記録

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2 続き	<input type="checkbox"/> 健康に関する啓発及び教育を行っているか	1	未整備。	健康相談員の配置。 カウンセラーの配置。 柳橋病院との連携。		
	<input type="checkbox"/> 心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか	1	未整備。			
	<input type="checkbox"/> 近隣の医療機関との連携はあるか	1	未整備。			
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 遠隔地から就学する学生のための寮を整備しているか	4	学生寮の設置。 寮規定の作成。 相談担当者の配置。 生活指導のオリエンテーションを実施。	寮生の相談担当者の時間的な配分。 建物が3つあるが、寮監の様なサービスは不足。	不動産会社と提携し、設備面での迅速な対応やサービスができるようになれば理想。	学生寮規約 入寮の手引書
	<input type="checkbox"/> 学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか	4				
	<input type="checkbox"/> 学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	4	入居状況表の作成。			
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか	3	活動の把握に努める。 担当者の配置。	支援体制の充実。	時間的配分の調整。	
	<input type="checkbox"/> 大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか	3				
	<input type="checkbox"/> 大会成績など実績を把握しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
健康診断による身体の状態の把握は行っている。 啓発や心のケア等については今後の課題。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	<input type="checkbox"/> 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	1	保護者の連絡先を把握。	保護者との連携不足。	保護者会の開催。文書等による、定期的な連絡。	
	<input type="checkbox"/> 個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか	2	成績や出席に関する通知表を学生本人に配布。			
	<input type="checkbox"/> 学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか	2				
	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制を確保しているか	2				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学業の状況に懸念がある場合のみ保護者への通達を実施。 進級・卒業が円滑に行えるよう事前情報の提供に努めているが 保護者との交流・連携は十分とはいえない。</p>	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか <input type="checkbox"/> 卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	1 1 1 1	同窓会の設置。	卒業生との交流、動向調査。 卒業生からの同窓会役員の選定。	SNS、ホームページ等を活用し、卒業生へ積極的に発信していく。	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか <input type="checkbox"/> 学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか	3 2	職業実践専門課程の導入。(今期まで)	企業・業界団体等との連携強化。	卒業生も活用し、積極的な交流を実施していく。 教育課程編成委員会・会議・企業訪問などでの意見交換	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	<input type="checkbox"/> 社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか <input type="checkbox"/> 図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか	2 1 1 3	個別相談の実施。 就職担当者からの個別対応・相談等を実施。	社会人経験者の入学はここ数年いない。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
同窓会についての業務運営は滞っている現状。 社会人の受け入れに関しては、社会人枠設定の必要性等、広報課と連携し入学しやすい環境創りを構築したい。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>照明器具の LED への交換工事（一部）、教室壁の塗装、壁紙の貼り替えを行った。</p> <p>校舎の老朽化は否めないが、教育環境の整備は計画的に実施している。</p> <p>今後の課題としては、Wi-Fi 環境の整備が急務 であ 20</p>	<p>施設整備に関し予算を組み、計画的に優先順位を決めて進めていく。</p>	

最終更新日付	2020 年 6 月 1 日	記載責任者	谷口 久光
--------	----------------	-------	-------

6-22 施設・設備等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	<input type="checkbox"/> 施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか	3	施設、設備、機器類等は老朽化が進んでいるが、計画的に整備している。 図書室はあるが、整備は不十分である。 学生の休憩室、食事をするスペースは確保されていない。 また、バリアフリー化は進んでいない。	図書室の整備 休憩室、食堂等のスペースがない。	優先順位を決め、計画的に進める必要がある。	事業計画書
	<input type="checkbox"/> 図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか	2				
	<input type="checkbox"/> 図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか	2				
	<input type="checkbox"/> 学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか	2				
	<input type="checkbox"/> 施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか	2				
	<input type="checkbox"/> 手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 卒業生に施設・設備を提供しているか	2				
	<input type="checkbox"/> 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
計画的に整備を進めているが、校舎自体の老朽化は否めない。 学生の増加により、スペースが足りない状況にある。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか	4	留学生のインターシップにも取り組んでいる。 インターシップ受け入れ企業と方法を変え、有給実習や、夏季実習にも取り組んでいる。	実習先企業の確保 実習内容の企業による差をなくす。 給与体系も公平にしていきたい。 留学生インターシップの実施方法、時期、期間、受け入れ先等を変えたことによる効果の分析が課題である。	業界団体、企業、官庁と連携を図り、実習先の確保、実施方法等を検討し推進していく。	実習実施要項 協定書
	<input type="checkbox"/> 学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 学外実習について、成績評価基準を明確にしているか	4				
	<input type="checkbox"/> 学外実習等について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 学外実習等の教育効果について確認しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	3				
	<input type="checkbox"/> 卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>インターシップを実施しており、企業との連携も取れている。給与や労働時間含めた、実習内容の充実が課題である。</p> <p>留学生のインターシップに取り組み、実習先、実習方法、時期等を変えたことによる効果の分析が課題である。</p>	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的な行動のマニュアルを整備しているか <input type="checkbox"/> 施設・建物・設備の耐震化に対応しているか <input type="checkbox"/> 防災・消防施設・設備の整備及び保守点検は法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 防災（消防）訓練を定期的実施し、記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 備品の固定等転倒防止など安全管理を徹底しているか <input type="checkbox"/> 学生、教職員に防災教育・研修を行っているか	3 2 4 4 3 3	防災に対する計画体制は整備されている。 防災設備の点検維持管理は適正に行っている。 防災訓練は定期的実施している。 建物の耐震化はできていない。	校舎の耐震化工事	校舎の耐震化に向けて、計画を進めていく。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校安全計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	2 2 2	計画、防犯体制、マニュアルが整備されていない。学内の安全管理体制は不十分である。	安全管理体制の整備	計画的に安全管理体制を整備していく。 防犯カメラの設置	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-2 続き	<input type="checkbox"/> 薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか	3 2	危険物は特にない。担当教員は定めているが、学外での安全管理体制は外部にゆだねている。	危険物を持ち込ませない。	周知徹底	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>防災に対する体制は整備され、防災訓練も実施している。学外の安全管理体制は整備されていない。校舎の耐震化工事、安全管理体制の整備が課題である。</p>	<p>建築設備、消防設備の定期点検を実施 防災訓練を年1回実施。</p>

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>日本人の出願が微減であるが、依然募集は厳しい状況が続く。</p> <p>インターンシップを売りにするなど、日本人の募集方法やPR方法を変更し出願増を目指したが、厳しい結果となった。</p> <p>留学生は、出願数がさらに増えたが、厳格な入学試験を実施したため合格者・入学者は微減。学生の質は向上した。</p> <p>学生数の増加により、教室のやりくりが難しい状況が生じている。</p>	<p>就職に強い学校づくりを進めていき、学校としての魅力をアピールすることで学生募集につなげていく。また新たな学科や募集形態についても検討を進めていく。</p> <p>留学生については、引き続き「選ばれる学校」として、教育内容、学生サービスの充実を図り、募集活動を続けていく。学業目標意識の高い学生、経費支弁に問題のない学生の獲得を図る。</p>	

最終更新日付

2020年6月1日

記載責任者

大沼 由実代

7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか <input type="checkbox"/> 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか <input type="checkbox"/> 教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか	2 1 3	高等学校の進学説明会参加回数は減少。参加は入学実績・過去動員数を元に決定。 高校教員向け説明会は実施していない。 生徒・保護者・教員向け「学校案内」冊子を配布している。	本校の特徴を明確に提示し理解を得、他校との差別化を図る。 本校の新しい取り組みや方針に対する理解を図り、選ばれる学校づくり・広報活動が必要と考える。	高等学校共有とのコミュニケーションを密にし、情報収集を基に、これからの時代にあった学校づくりや情報告知・発進ツールの活用に努め、学校改革を進めていく。	職員会議資料
7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか	<input type="checkbox"/> 入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか <input type="checkbox"/> 専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか <input type="checkbox"/> 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか <input type="checkbox"/> 広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか	4 4 4 4 4	募集に係る業務を明確にし、適切な募集活動を行っている。 学校説明会・個別見学・電話・メールに加え、QRコード・SNS活用で多様に情報提供を行い対応している。 学校案内・募集要項・学校ホームページを一新し、分かり易い情報提供・告知を行っている。	高等学校の学校訪問・校内ガイダンスによる効果は薄い。 情報検索・収集・閲覧のし易さなど、効率よく利便性ある情報提供が必要。定期的な情報更新も必要と考える。 收拾した情報・データを分析へ活用しきれていない。	営業方法の見直しとツールの充実 リアルタイムの情報提供、動画や写真公開でオープンに学校情報を伝えていく。 媒体分析レポートを活用し、改善に取り組む。	学校案内 募集要項 学校ホームページ

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	<input type="checkbox"/> 体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか <input type="checkbox"/> 志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか	4 3	<p>過去動員数をもとに、開催日程（日時・開催数）を決定。</p> <p>書類・筆記・面接試験を総合的に審査する。企業実習希望者は実習先の面接も実施。</p>	<p>校内だけでなく外部へ出る体験入学やメニューの再検討</p> <p>インターネット出願など新しい出願方法の導入の検討。</p>	<p>卒業生の起用や実習先ホテルを活用した体験入学の検討</p> <p>学校ホームページやSNSにも周知徹底を図りたい。</p>	職員会議資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>高校生の募集活動見直しを実施／活動エリアの変更 業者媒体の選定、SNSの活用。</p> <p>留学生の募集活動は、例年と大きく変えず実施。学校説明会への参加を促す活動は続けていく。</p>	<p>学校法人高村育英会グループ校として、姉妹校と連携した募集活動を始める。</p>

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	大沼 由実代
--------	-----------	-------	--------

7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	3 4 4	<p>日本人はAO・推薦・一般の出願区分を設け、書類・筆記・面接審査で選考を行う。企業実習希望者は企業面接も実施。</p> <p>留学生は日本語能力・経費支弁能力・学習意欲を書類・筆記・面接審査で厳格に実施。</p>	<p>日本人・留学生共に選抜基準の適正性を図り、厳格な審査が必要と考える。</p> <p>特に留学生の書類審査においては、徹底した審査が必要と考える。</p>	<p>学校説明会や個別相談会での面談情報に加え、高校生については進路指導または担任教員からの情報収集もきめ細かに実施する。</p> <p>留学生の学校説明会参加を促す。本校をよく理解し受験を促す。</p>	募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	<input type="checkbox"/> 学科毎の合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか <input type="checkbox"/> 学科毎の入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか <input type="checkbox"/> 財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか	4 4 3 3	<p>入学選考や入学者のデータを蓄積・管理している。</p> <p>学生意見を募り、授業体制やカリキュラム改善に役立てている。</p> <p>ガイダンスや学校説明会接触者数から入学者見込みを算出している。</p> <p>日本人・留学生の学費関連を教務・財務と連携共有し整合性を図っている。</p>	<p>各課担当者間のデータ照合・共有を徹底し、一元管理する体制をとっている。</p> <p>高校生・留学生の学力や動機付けは変化しているため、カリキュラム変更に対応していくべき。</p>	<p>学生情報管理システムを導入し、教務・財務・学生課における情報共有・管理体制の整備に努めているが、データ入力の正確さ、更新の徹底に努める必要がある。</p> <p>学生のニーズに合わせカリキュラムを作成し告知していく。</p>	職員会議資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>入学選考は適切に実施されているが、高校生においては学力検査の導入を検討する必要性もある。書類と人物重視の審査だけでは不十分に思えるため今後の課題として検討。</p> <p>留学生の入学選考は、書類・面接・筆記試験と厳格に実施するに加え、質のいい学生獲得するマンパワーのスキル向上も図る必要がある。</p>	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	大沼 由実代
--------	-----------	-------	--------

7-27 学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	<input type="checkbox"/> 学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学納金の水準を把握しているか <input type="checkbox"/> 学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4 3 4	学納金の査定は適切に行われている。 募集要項に学納金を明示している。	学納金の提示や徴収に誤りがないようにする。	財務・教務と連携し適切に対処していく。	募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	<input type="checkbox"/> 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	4	適切に対処している。	入学辞退の場合の授業料返還について職員全員が共通理解をする。	情報共有に努め迅速に適切に対処していく。	募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金については適正に算定され、適切に取り扱っている。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	大沼 由実代
--------	-----------	-------	--------

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>平成 31 年度は総学生数が 318 人となり、平成 30 年とほぼ同数だった。多方面での合理化により、経費の削減が実現し、財務体質はさらに改善した。</p> <p>令和 2 年になり、303 人と微減であるが、新型コロナウイルスの感染拡大により、不透明な部分もある。</p> <p>予算の見直しを行い、適切な投資を行い、健全な学校運営を続けていく。</p>	<p>日本人学生増加のため、適切な投資を行う。</p> <p>留学生の継続的な入学に向け、教育環境を整備していく。</p>	

最終更新日付	2020 年 6 月 1 日	記載責任者	谷口 久光
--------	----------------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	<input type="checkbox"/> 応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか	4	学校、学校法人の中長期的財務基盤は安定している。	安定的学生の確保	中期計画を立て、学校運営改革を進める。	事業計画書
	<input type="checkbox"/> 収入と支出はバランスがとれているか	4				
	<input type="checkbox"/> 貸借対照表の翌年度繰越収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか	4				
	<input type="checkbox"/> 消費収支計算書の当年度消費収支超過額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 設備投資が過大になっていないか	4				
<input type="checkbox"/> 負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	4					
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	<input type="checkbox"/> 最近3年間の収支状況（消費収支・資金収支）による財務分析を行っているか <input type="checkbox"/> 最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	4 3	財務分析を行っている。	財務分析の問題解消	改革の実行	事業計画書

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-2 続き	<input type="checkbox"/> 最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか	4	今後の財務改善計画を策定している。	財務改善計画の実施	改革の実行	事業計画書
	<input type="checkbox"/> キャッシュフローの状況を示すデータはあるか	3				
	<input type="checkbox"/> 教育研究費比率、人件費比率の数値は適切な数値になっているか	3				
	<input type="checkbox"/> コスト管理を適切に行っているか	3				
	<input type="checkbox"/> 収支の状況について自己評価しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期的財務基盤は安定している。学生数の増加、多方面での合理化により財務状況は改善した。さらなる改善を進めていく。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	<input type="checkbox"/> 予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか <input type="checkbox"/> 予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	4	事業計画に沿った予算編成を行っている。	財務状況の改善	改革を進める。	事業計画書
		3				
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	<input type="checkbox"/> 予算の執行計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 予算と決算に大きな乖離を生じていないか <input type="checkbox"/> 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか <input type="checkbox"/> 予算規程、経理規程を整備しているか <input type="checkbox"/> 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど誤りのない適切な会計処理を行っているか	4	予算、計画に基づき、適正に執行されている。	財務状況の改善	改革を進める。	事業計画書
		3				
		3				
		3				
		3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>予算は計画に基づき編成され、適正に執行されている。学生数は横ばいとなった。さらに改革を進めていく。</p>	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

8-30 監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	□私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	適切に監査を行っている。	特になし	適切な監査を続けていく。	監査報告書
	□監査報告書を作成し理事会等で報告しているか	4				
	□監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか	1				
	□監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
適切な監査を行っており、これを続けていく。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 財務公開規程を整備し、適切に運用しているか	4	校内には掲示している。またホームページに掲載し公開している。	特になし	特になし	財務諸表 ホームページ
	<input type="checkbox"/> 公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 財務公開の実績を記録しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校内の掲示板に掲示し、ホームページにも掲載して公開している。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>関係法令、専修学校設置基準の遵守は最優先で行っており、今後も続けていく。</p> <p>また、個人情報の管理も適正に行っている。</p> <p>自己点検・自己評価の体制は整っており、年度ごとに実施している。</p>	<p>個人情報の保護管理、情報漏洩対策を徹底させていく。</p> <p>自己評価の精度を向上させていく。</p>	

最終更新日付

2020年6月1日

記載責任者

谷口 久光

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目。	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	<input type="checkbox"/> 関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか	4	法令、専修学校設置基準を遵守し、就業規則に基づき、適正に学校運営を行っている。	コンプライアンス意識の徹底	研究、研修を行っている	就業規則
	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか	3				
	<input type="checkbox"/> セクシュアルハラスメント等ハラスメント防止のための方針を明確化し、防止のための対応マニュアルを策定して適切に運用しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談受付窓口を設置しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係法令、専修学校設置基準を遵守し、就業規則に基づき、適正に学校運営を行っている。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	対策を実施している。	課題の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	<input type="checkbox"/> 個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか	3	個人情報保護の対策を実施している。 学籍管理システムを活用し、情報漏洩対策を強化している。	情報漏洩対策が完全とは言えない。	教職員の意識の啓蒙を行っていく。	
	<input type="checkbox"/> 大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか	3				
	<input type="checkbox"/> 学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学籍管理システムを活用し、個人情報保護の対策を講じているが、完全とは言えない。教職員への指導を徹底していく。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか	3	自己評価体制を整備し、実施している。	適正な評価 評価結果の活用	評価の活用を進めている。	自己評価報告書
	<input type="checkbox"/> 実施に係る組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取組んでいるか	3				
	<input type="checkbox"/> 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	3				
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか	4	報告書にまとめている。 ホームページでの公開している。	評価の精度	精度向上に努力していく	自己評価報告書
	<input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4				
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか	1	学校関係者評価を廃止した。			
	<input type="checkbox"/> 実施に際して組織体制を整備し、実施しているか	1				
	<input type="checkbox"/> 設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか	1				
	<input type="checkbox"/> 評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	1				
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか	1	学校関係者評価を廃止した。			
	<input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	1				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>自己評価の体制は整備され、報告書にまとめており、ホームページで公開している。</p> <p>学校関係者評価は運営が難しく、効果が得られなかったため、廃止した。</p> <p>自己評価をいかに反映していくかが課題である。</p>	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	<input type="checkbox"/> 学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか <input type="checkbox"/> 学生、保護者、関連業界等広く社会に公開するための方法で公開しているか	4 3	学校概要、教育内容はホームページに公開している。	公開内容の検討	ホームページの更新	ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校情報をホームページに公開している。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>社会貢献、地域貢献、ボランティアについては、台東区役所、浅草消防署等と関係を深めている。</p> <p>国際交流については、毎年、十数カ国からの留学生を迎え、就職、進学など、社会に送り出している。学校の教育理念でもある、「国際教育」を実践している。</p>	<p>社会貢献、地域貢献、ボランティアについては引き続き積極的に行っていく。</p> <p>留学生受け入れについては、引き続き積極的に行っていく。</p>	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<input type="checkbox"/> 産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか	3	台東区、浅草消防署との連携を深めている。	具体的方法を検討	産官学の連携に積極的に参加する。	
	<input type="checkbox"/> 企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか	3				
	<input type="checkbox"/> 国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか	1				
	<input type="checkbox"/> 学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか	2				
	<input type="checkbox"/> 高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか	1				
	<input type="checkbox"/> 地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか	1				
	<input type="checkbox"/> 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか	1				
	<input type="checkbox"/> 学生・教職員に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための教育、研修に取り組んでいるか	2				

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-2 国際交流 に取り組んでいる か	□海外の教育機関との国際 交流の推進に関する方針を 定めているか	2	留学生の受け入れを積 極的に行っており、国際 交流を進めている。 海外の教育機関との連 携は取れていない。	留学生の国籍の変化 海外の教育機関との連 携方法 ニーズの変化	日本語能力の向上、ニー ズへの対応を進めてい く。 国内他校と連携して、が 海外教育機関との連携 を図る。	
	□海外の教育機関と教職員 の人事交流・共同研究等を行 っているか	2				
	□海外の教育機関と留学生 の受入れ、派遣、研修の実施 など交流を行っているか	2				
	□留学生の受入れのため、学 修成果、教育目標を明確化 し、体系的な教育課程の編成 に取り組んでいるか	3				
	□海外教育機関との人事交 流、研修の実施など、国際水 準の教育力の確保に向け取 組んでいるか	2				
	□留学生の受け入れを促進す るために学校が行う教育課 程、教育内容・方法等につい て国内外に積極的に情報発 信を行っているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>台東区や浅草消防署との連携は、実現してきているが、さらに深めていきたい。インターシップやボランティア活動を行うことにより、専門教科目への実践的教育効果を上げていきたい。</p> <p>留学生の積極的受け入れにより、国際交流を進めていく。</p>	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	<input type="checkbox"/> ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか <input type="checkbox"/> 活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を把握しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を評価しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	3 2 3 3 2	浅草消防署の依頼により、救急防災ボランティアに参加した。	ボランティア活動の内容と取り組み方法	積極的にかかわっている。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
浅草消防署の依頼による災害時支援ボランティアに参加した。今後は介護分野にも参加していきたい、内容や方法を検討しながら実施していく。	

最終更新日付	2020年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

4 令和元年度重点目標達成についての自己評価

令和元年度重点目標	達成状況	今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・<学科廃止> 医療・医薬学科最後の卒業生を送り出し、学科廃止の手続きを行う。 ・<業務の見直し> 全員の仕事の洗い出しを行い、各課を越え仕事を推進し更なる合理化を行う。横の連携を深める。 ・<学科の見直し> 2021年度に向けて学科の見直しを行い、カリキュラム改革に支障をきたしている教室不足を解決する。(ホテル実習室) ・<学生満足度の向上> 学生の質向上に伴い、授業内容を見学を通して確認し、学生の声を反映できる顧客満足度の高い教科運営に取り組む。 ・<講師・カリキュラム> 講師面談を強化。授業内容は業界人である講師の意見を取り入れ就職に直結するカリキュラム作成を更に刷新する。 ・<学生募集> ディズニー関連のホテルなど、知名度の高いホテルと連携した企業実習を構築するなど商品力を考察し、日本人募集を回復させていく。 ・<就職強化> インターンシップ制度を就職率だけでなく知名度のある就職実績へのレベルアップを図る。 	<p>学科廃止完了。</p> <p>適材適所で職員配置。業務の質向上ができた。</p> <p>検討中</p> <p>講師と職員の連携により、授業内容、授業態度が改善し、満足度が向上した。</p> <p>講師と協議し改善に取り組んだ。</p> <p>日本人募集にはつながらなかった。</p> <p>特定技能ビザで採用するケースもあり、企業の対応も不確定で、課題が多かった。</p>	<p>日本人の募集</p> <p>留学生の安定的募集</p> <p>新学科の検討</p> <p>就職指導の質向上</p>